

2017年03月07日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

- 商品名（総称）；免疫磁気ビーズ「生研」
- 会社名；デンカ生研株式会社
住所 新潟県五泉市木越字鏡田 1359 番地 1
担当部門 信頼性保証本部 品質保証部
電話番号 0250-43-4136 ファックス番号 0250-43-3789
緊急連絡番号 0250-43-4136
- 商品番号；

商品番号	内容及び包装
240071	免疫磁気ビーズ O157「生研」 2.5mL×1本
240101	免疫磁気ビーズ O26「生研」 1.3mL×1本
240118	免疫磁気ビーズ O111「生研」 1.3mL×1本
240132	免疫磁気ビーズ O45「生研」 1.3mL×1本
240149	免疫磁気ビーズ O103「生研」 1.3mL×1本
240156	免疫磁気ビーズ O121「生研」 1.3mL×1本
240163	免疫磁気ビーズ O145「生研」 1.3mL×1本
240170	免疫磁気ビーズ O165「生研」 1.3mL×1本

- 用途；食品検査用 腸管出血性大腸菌検査試薬
- SDS 整理番号；240071-06

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類；
物理化学的危険性：分類できない。
健康に対する有害性：区分外
環境に対する有害性：区分外
- GHS ラベル要素；
絵表示：適用外
注意喚起語：なし。
危険有害性情報：適用外
注意書き：適用外
- 他の危険有害性；
本品にはウシ血清アルブミン(BSA)が含まれるが、BSE 対策を実施したウシ由来のものである。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別；混合物
- 成分及び含量；

成分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	含量 (%)
・各免疫磁気ビーズ アジ化ナトリウム	(1)-482	26628-22-8	0.08 w/w%

4. 応急措置

- ・吸入した場合；空気の新鮮な場所に移動し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合；すぐに多量の水と石鹼でやさしく洗うこと。
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと，取り除くこと。皮膚を流水，シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
外観に変化が見られたり，水疱，痛み，皮膚刺激等の症状が出た場合は，医師の診断/手当を受けること。
- ・眼に入った場合；清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合；清浄な水で口の中をよくすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状；情報なし。
- ・応急措置をする者の保護；個人用の保護具を着用すること。
- ・医師に対する特別注意事項；情報なし。

5. 火災時の措置

- ・消火剤；水噴霧，泡消火剤，粉末消化剤，乾燥砂類
- ・使ってはならない消火剤；情報なし。
- ・特有の危険有害性；火災時に刺激性，腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
蒸気又は粉じんが空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。
- ・特有の消火方法；消火活動は風上から行う。
危険でなければ火災区域から本品を移動する。
- ・消火を行う者の保護；適切な空気呼吸器，防護服（耐熱性）を着用し，安全な場所から消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置；
密閉された場所の場合，立ち入る前に換気する。屋内の場合，処理が終わるまで十分に換気を行う。関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には，適切な保護具を着用し，皮膚，眼への接触や吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項；漏出した製品が河川等に排出され，環境への影響を起ささないように注意する。汚染された廃水が適切に処理されず環境へ排出しないよう注意する。
- ・封じ込め及び浄化方法及び機材；
吸着剤（ペーパータオル等）に吸着させ，取り除いた後，水でよく拭き取る。
密閉できる容器に回収し，後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い；
技術的対策：保護眼鏡，保護手袋，保護衣等の適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項：眼，皮膚，又は衣類につけないこと。
取扱い後は，手をよく洗うこと。
休憩場所には，手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。
みだりにエアロゾルが発生しないように取り扱うこと。
飲み込まないこと。
接触回避：「10. 安定性及び反応性」の項を参照。
- ・保管；安全な保管条件：2～10℃に保存する。

凍結させないこと。
安全な容器包装材料：本品に使用されている容器にて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・管理濃度；設定なし。
- ・許容濃度（ばく露限界値，生物学的ばく露指標）；
＜アジ化ナトリウム＞ ACGIH（2014）0.29mg/m³ (TLV-C)
EU OEL 0.1 mg/m³ (TLV-TWA) 0.3 mg/m³ (TLV-STEL)
- ・設備対策；本品を扱う作業場には，洗眼器，安全シャワー，全体換気装置，局所排気装置を設置することが望ましい。
- ・保護具；呼吸器の保護具：適切なマスクを着用する。
手の保護具：適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具：適切な保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。
- ・衛生対策；本品を使用する時に，飲食または喫煙をしないこと。
保護具は保護具点検表等により定期的に点検すること。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理的状态；形状：液状（静置時，磁気ビーズの沈降あり）
色：茶褐色（磁気ビーズ）
- ・臭い；なし。
- ・他の物理的及び化学的性質；混合物でデータなし。

10. 安定性及び反応性

- ・反応性；情報なし。
- ・化学的安定性；2～10℃の保存で安定
- ・危険有害反応可能性；
通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
本品中の成分＜アジ化ナトリウム＞は，銅，鉛，銀，水銀，二硫化水素と反応し，衝撃に敏感な化合物を生成するおそれがある。又，酸と反応し，有毒で爆発性のアジ化水素を生成するおそれがある。
- ・避けるべき条件；直射日光，熱，火気，衝撃，振動
- ・混触危険物質；銅，鉛，銀，水銀，二硫化水素，酸，強酸化剤
- ・危険有害な分解生成物；成分＜アジ化ナトリウム＞ アジ化水素

11. 有害性情報

- ・GHS分類；
健康に対する有害性：区分外
- ・成分情報；
＜アジ化ナトリウム＞
 - ・急性毒性；
経口 LD50=45mg/kg(ラット，DFGOT vol.20 (2003))
飲み込むと生命に危険
 - 経皮 LD50=20mg/kg(ウサギ，ACGIH(2001))
皮膚に接触すると生命に危険

12. 環境影響情報

- ・GHS分類；

環境に対する有害性：区分外

・成分情報；

＜アジ化ナトリウム＞

・生態毒性；

水生環境急性有害性：水生生物に非常に強い毒性

水生環境慢性有害性：長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

1 3. 廃棄上の注意

・残余廃棄物；

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

本品を用いての試験後の廃液にはヒト由来検体が含まれるため、ウイルス等による感染を考慮する必要があり、本品の添付文書等を参照し、消毒等の処理後廃棄する。

・汚染容器及び包装；

容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

・国際規制；

陸上規制情報 ADR・RID の規定に従う。

海上規制情報 IMO の規定に従う。

航空規制情報 ICAO・IATA の規定に従う。

・国内規制；

陸上規制情報 消防法、毒劇及び劇物取締法の規制に従う。

海上規則情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 航空法の規定に従う。

・特別安全対策；

食品や飼料と一緒に輸送しないこと。

重量物を上積みしないこと。

輸送中に容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

1 5. 適用法令

＜本品＞

・労働安全衛生法：非該当

・化管法（PRTR 法）：非該当

・毒物及び劇物取締法：非該当

成分＜アジ化ナトリウム＞

・労働安全衛生法：表示・通知義務対象物質（施行令第 18 条の 2 別表第 9 の 9，1 重量%未満で適用外）

・化管法（PRTR 法）：第 1 種指定化学物質（施行令第 1 条別表第 1 の 11，1 質量%未満で適用外）

・毒物及び劇物取締法：毒物（指定令第 1 条の 1，0.1%以下で適用外）

1 6. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されておりますが、新し

い知見により改訂されることがあり，含有量，物理化学的性質，危険，有害性等に関しては，内容を保証するものではありません。

又，注意事項は通常のご扱いを対象にしたものなので，用途・用法に適した安全対策を実施した上，ご利用ください。